



▲20周年記念大会の開会式であいさつする田上会長

地域で見守り支え合う

宮内地区社会福祉協議会やまびこ会設立20周年記念大会

■20年の歴史を振り返り
これからの宮内を考える

10月5日(土) 宮内地区社会教育センターで、宮内地区社会福祉協議会やまびこ会の設立20周年記念大会が開催されました。

同会(田上菊夫会長)は、宮内地区の住民が生涯を通して生き生きと安心して生活できる地域福祉を目的に、平成11年に設立。平成21年の宮内小学校閉校に伴い、校区社協から地区社協への名称変更を経て現在に至ります。花見やスポーツ大会などのいろいろな活動を通して地域の方の見守りや支え合いを行っており、よりよい社会福祉を目指して活動しています。

記念大会の開催にあたり、奥名克美町長は「20年の歴史の中で多くの苦労があったかと思いますが、歴代会長をはじめ役員や地区の皆さんの協力で今日を迎えているのではないかと思います」と祝辞を述べられました。



▲地域での支え合いについて講演する佐伯さん

▼地域での支え合いを考える
記念大会では、(有)ひと地域計画ネットワークの佐伯謙介さんによる講演会が行われ、宮内地区の住民ら64人が耳を傾けました。

佐伯さんは「宮内のなつぞら」御近所の支え合いにむけて」と題して講演。健康寿命と、甲佐町や宮内地区の高齢化率を示しながら、健康維持や介護予防に加えて、できるだけ地域での支え合いを行っていくことが、いつまでも暮らしやすい地域づくりにとって大切であることを話されました。

古民家改修ワークショップ

リノベーションが進む旧西村邸

町では、空き家などの地域資源の有効活用を通して、移住・定住の促進や交流人口の増加を図り、地域の活性化につなげていくため、さまざまな事業に取り組

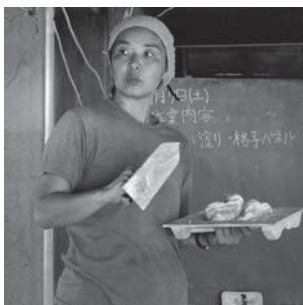
んでいます。その1つとして、本町の魅力を集めた交流拠点施設を整備するため、仁田子の旧西村民俗資料館の改修ワークショップを開催しています。



▼これまでの古民家改修ワークショップについてはこちらをご覧ください。



<https://www.facebook.com/kousatenproject/>



DIYが好きで
はじめて参加しました



細西 記代美さん
(熊本市中央区)

しつこい塗りははじめてでしたが楽しかったです。完成したら自分が塗ったところを見に来たいですね。

■古民家利活用で本町の魅力を
集めた施設にリノベーション

仁田子の旧西村邸は民俗資料館として利用していましたが、熊本地震で被災。町内外の人と人が交差する「こうさてんプロジェクト」として、より親しみを育てるようとワークショップでの改修を行っています。施設はカフェや宿泊施設を備える予定で、来年3月の工事完了を目指しています。

■改修ワークショップを開催

昨年11月の土壁の下準備から始まった改修ワークショップも内壁や天井、床の解体、格子壁の製作などを経て、床張りや内壁のしつこい塗り、塗装、床板磨きまで作業が進んでいます。

9月7日(土)・8日(日)に行われた今年上半期最後のワークショップでは、塗り壁の下地となる木ずりにしつこいを塗る作業などを実施。参加者は慣れないコテの使い方を左官の加本さんに教わりながら楽しく作業を行いました。10月の古民家改修ワークショップを終えて残すはあと3回。ワークショップを通して参加者同士の新たな交流も生まれています。未体験の方は、ぜひご参加ください。

▼お問い合わせ先

町地域振興課

096・2334・1154